

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月13日 更新

事務事業名		公営住宅維持管理事務					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康				所属部	都市建設部	課長名	坂本 強	
	施 策	18	住環境の充実				所属課	都市計画課	担当者名	前田 圭亮	
	施策の柱	57	公営住宅の充実				所属班	建築住宅班	(内線)	5266	
予算科目		会計一般	款 8	項 5	目 1	事業連番 10158	根拠法令	公営住宅法・特定優良賃貸住宅の促進に関する法律・合志市営住宅 条例			
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公営住宅及び特定公共賃貸住宅の補修を行った。補修を要望するものからの連絡により実施した。消防用設備やエレベーターの保守管理を実施した。現在の入居者からは床や屋根、設備の修理の要望が多く、修繕費用が高額になってきている。今後も「合志市公営住宅等長寿命化計画」に基づき適正な維持管理を行っていく。
【業務の流れ】	入居者からの連絡により補修箇所を現地に確認し、直接職員が補修、又は業者に補修を依頼した。
【主な予算費目】	旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・工事請負費・原材料費・備品購入費・負担金補助及び交付金
【意見や要望】	入居者から台所及び風呂・トイレなど水周りや給湯器等の不具合による補修要望が多くあがってきている。また、水道の漏水関係の相談も多い。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 補修を必要とする入居者からの相談を受け、現地を調査確認のうえ補修を適時行った。また、除草作業や樹木管理の環境整備、エレベーターや消防設備の法定点検などの維持管理業務を適正に行った。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 市営住宅の補修を要望する入居者からの連絡により、現地の確認を行い、長寿命化計画に基づき維持補修を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
⇒ ア 修繕費・維持工事の件数	件	南原住宅除草及び防草シート敷設業務に伴う委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等住宅の補修を要望するもの。	(単位) 件	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	⇒ ア 必要な補修の要望件数	件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)安全に住むことが出来る。	(単位) %	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
	⇒ ア 必要な補修が出来た割合	%
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 市営住宅に安全で快適な状態で居住できているかを判断するため、補修要望への対応を成果指標に設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア 件	イ	87	74	80	66	80	80	80	80
② 対象指標	ア 件	イ	87	74	80	66	80	80	80	80
③ 成果指標	ア %	イ	100	100	100	100	100	100	100	100
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	2,920		2,321	2,504	2,722		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	11,971	8,329	10,604	5,968	14,448	9,806	9,806
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2	1,055	793	4,020			
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	14,893	9,384	13,718	12,492	17,170	9,806	9,806
		(A)のうち指定経費	千円	18	18	18	18	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	5,145	4,080	4,780	4,268	4,780	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	20,038	13,464	18,498	16,760	21,950	9,806	9,806

事務事業名	公営住宅維持管理事務	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した 随時対応しているため達成。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 要望に対し現地を確認のうえ、必要に応じ随時補修を行うため目標達成は可能である。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 必要に応じて補修をしているので、向上の余地はない。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 老朽化による補修費用の削減を図るため、職員で出来る範囲での補修を行なっているので削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 すでに職員削減を行い、補修の外部発注を行っているため、削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 入居者からの要望により、長寿命化計画に基づき補修を行なっているので公平である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 維持管理も含めた委託により、団体等へ移行可能と思われる。	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

各施設の老朽化のため補修要望が増えてきており、費用が増加傾向にある。今後は公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的に維持管理を行っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												